

知床の森から

平成23年1月 第129号



知床森林センター広報誌

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



■写真:「ヨミカタリ1周年記念イベント」の様子
木のカスタネットや笛を楽しむ子どもたち



知床の冬の森をもっと素敵に！ ～知床ボランティア活動施設で読み語り～

1月7日(金)当センター知床ボランティア活動施設にて、幼児・小学生を対象とした地元の絵本読み語りサークル「ヨミカタリ」の1周年を記念したイベント(ヨミカタリ主催)が開催されました。このイベントは、絵本を通して「いつもの知床の冬の森の景色が、もっと素敵に感じるように」と企画されたもので、22名の親子が参加しました。

内容は、北海道の冬の森をテーマにした絵本の読み語り、ネイチャーガイドによる森の動物のスライドショー、そして当センター職員によるネイチャークラフトと盛りだくさんのイベントでした。

ネイチャークラフトではセンター周辺の森で採取した材料を使ってクルミのネックレスとエンジュのカスタネットを作り、おみやげとして職員手作りのヤナギの笛をプレゼントしました。

子どもたちは真剣な表情で、聞いて、見て、楽しんだ様子で、冬の森の魅力を感じてくれたようでした。

平成23年もよろしくお願いたします

2011国際森林年がスタートしました！
知床森林センターでは2011年も国民参加の森林づくり活動の推進に向け様々な取組を行ってまいります



知床森林センター 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

2011年、「国際森林年」の幕開けです。実はこの国際森林年、1985年に続き2回目です。初めての国際森林年の年は、同時に国連年でもあり、国際青年年でもありました。2回目の国際森林年は、今年の「生物多様性年」とも関連し、いわゆる地球サミット（1992年、国連環境開発会議）リオ会議を受けて、世界中の森林の持続可能な経営・保全の重要性に対する認識を高めることを目的に、国連のもとで様々な活動が行われます。我が国でも森林・林業再生や美しい森林づくり推進国民運動、途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進につなげていくことを目的に様々な活動が予定されていますし、当森林センターも微力ながらお手伝いしていく所存です。

さて、昨年はこちら数年間続いた当センターを取り巻く劇的な変化（＝知床ボランティア活動施設の建設、知床永久の森林づくり協議会の3年にわたる活動、森林センター事務所の移転）のない、一見穏やかな一年でした。しかし、知床世界自然遺産登録5周年の節目に当たり、各種イベント等が計画・実行されました。このような中、当センターにおいても5周年記念のイベント開催や首都圏における共催イベントへの職員の派遣など積極的に関わってきました。これまでオホーツク圏域がほとんどであったセンターの活動等のPRは、かなり広域的に、しかも行動的に行われたといえます。そういった点では、やはり、昨年も劇的な1年であったかもしれません。

今年は前述のとおり、国際森林年です。国民参加の森林づくり活動の推進に向けて更なる努力をしていきたいと考えておりますので、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、年頭に当たってのご挨拶と致します。

国際森林年とは



「国際森林年」（International Year of Forests）は国連によって定められ、国連総会決議により、国際森林年では、現在・未来の世代のため、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全、持続可能な開発を強化することについて、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされています。

また、国連は加盟国が国際森林年に関連した活動を促進することを奨励しており、我が国でも各地で様々な取組が行われる予定となっています。

新春コラム

「今年はウサギ年」



ウサギといえば、その愛くるしさで人気の動物の一つです。今年のお正月にはウサギのイラスト入りの年賀状が皆様のもとにも届けられたのではないのでしょうか。

北海道で「ウサギ」というと、本州の「ニホンノウサギ」よりやや大きい「エゾユキウサギ」そして、「キチー」と鳴き声を上げる「ナキウサギ」の2種が生息しています。

皆様はウサギ（ニホンノウサギ・エゾユキウサギ）という何色をイメージしますか？「白」もしくは「茶色」という方が多いのではないのでしょうか。では白いウサギと茶色のウサギはそれぞれ別の種類なのでしょう？答えは「NO」です。ウサギはキツネ、ワシ、タカ等の外敵から身を守るために夏は茶色、雪がある冬は白色に装いを変えているのです。また、積雪が少ない地域ではウサギの毛は白色にはなりません。

ウサギは「跳躍する」動物です。知床森林センターもウサギのように飛躍する年となるように、職員一丸となりがんばっていききたいと思っております。

第84回 森とのふれあい

森の恵みでクリスマスリースを作ろう

クリスマス恒例、天然のトドマツの枝葉をふんだんに利用したクリスマスリース作りを、12月4日（土）に行いました。今回は斜里町内の19名の方にご参加いただきました。

トドマツ特有の香りのなか、「こんなに立派なリースができるとは思わなかった」と声上がるほどのボリューム感のある彩り豊かなリースを作りました。

飾り付けには、リボンやベルに加え、マツボックリ、ドングリなど様々な森の恵みを自由に取り付けました。リースが完成し、個性あふれる作品が並べられた会場の雰囲気は一気にクリスマスムードとなり、達成感もあいまって、参加者の皆様からは自然と笑顔がこぼれていました。心のこもったリースが、クリスマスをいっそう豪華に演出してくれたのではないのでしょうか。



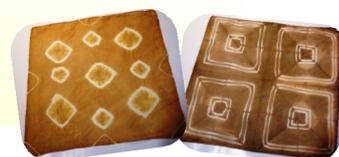
ロングランイベント

知床の森の恵みで草木染め&オリジナルリース作り

◎知床の森の恵みで草木染め

知床の秋の落ち葉、木の実を利用した草木染め体験を開催しました。毎年行っている草木染めですが、今年は10月20日～11月20日までの、1ヶ月間のロングランイベントとして開催し、地元の方をはじめ、本州や海外からの観光客の方にも多数ご参加いただきました。

知床の森で集めたイタヤカエデの落ち葉、ドングリのかくと（帽子）、キハダの皮を染料に、ハンカチを絞ってつけた様々な模様は個性に溢れ、お土産に、贈り物にと皆さん楽しそうに作成されていました。



◎知床の森の恵みでオリジナルリース作り

トドマツのクリスマスリースとは別に、12月6日～24日の期間、ツルを使ったリース作りを開催しました。このイベントでは、ツルのリースにマツボックリやクルミ、ドングリなどを思い思いに飾り、リースを作っていただきました。

飾り付けは配置や色使いなども様々、目的もクリスマス用からお正月用、季節を問わず飾ることのできるリースなどとオリジナル感たっぷり。期間中、地元の方や観光で訪れた方など多くの方にご参加いただきました。



竹ペン作り講座 を開催しました

11月17日（水）、斜里町の絵手紙サークルの皆様からの依頼により、根曲竹を使った竹ペン（チシマザサなのでササペン？）作りの講座を行いました。

作業はおもに小刀で削っていくもので、とても堅い根曲竹に悪戦苦闘していましたが、皆さん久しぶりの木工とのことで「子どもの頃に戻ったみたい」と夢中で作業をしていました。約2時間の予定の中で、1人3本の竹ペンを作成し、その後の時間でイタドリを使ったペン立てを作ったり、早速絵手紙を書いたり、それぞれに楽しんでいらっしゃいました。

後日、お礼の手紙と共に、作った竹ペンで描いた絵手紙が届き、「皆とても満足していました。本当にありがとうございました」とうれしい言葉をいただきました。

今後もこのような皆様の様々なご要望に対し、お応えしていきたいと思っております。

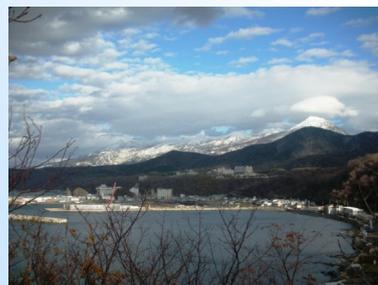


知床 は今

知床の山々も真っ白に雪化粧をしました。

快晴の日は青空と雪山のコントラストが素晴らしく、また、冷たい空気とあいまって清々しさの中に凜とした気持ちになります。知床の山々を見上げると、何かその姿から悠然とした雰囲気を感じ、不安な気持ちが和らぎ、心穏やかに過ごせるような気分になるので不思議です。

知床森林センターでは、こういった知床の山々などをライブカメラで配信していますので、是非アクセスしてみてください。（須）



知床ライブカメラ → <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/livecam.html>

森林ボランティア活動施設から

このたび、当施設では地元をはじめ多くの皆様からのご要望があった木育コーナー「こどもひろば」の拡充を行うこととなりました。5,000個の木球溢れる木の広場や木のおもちゃなど、子どもだけでなくお父さんお母さんも一緒に楽しめること間違いなしです。ぜひ木の球を手にとって自然の感触・ぬくもりを楽しんでください。開設時期等、詳細はホームページにてお知らせいたします。



木育コーナー「こどもひろば」

1～3月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPかお電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み期間等
2月9日(水)	第104回森林レクリエーションin知床 冬ならではの!! 静寂の森を歩くスキーで森林散策	オシッコシ上国有林 定員23名	1月31日まで 電話でお申し込み下さい
3月5日(土)	第105回森林レクリエーションin知床 かんじきで 冬の森林散策とデジカメ撮影	フレベの滝周辺国有林 定員23名	未定 (HPにてお知らせします)

冬の森林は見どころがたくさん!

冬の森林は樹木の葉も落ち一見寂しいような気もしますが、実は見どころがたくさんあります。葉の落ちた森の中は見通しがききます。野鳥の発見、木々の冬芽観察、雪上に残る足跡などから動物の行動を想像するなど、この季節ならではの楽しみがいっぱいです。ぜひ、冬のイベントにご参加下さい!



その他のお知らせ…下記の期間、かんじきの貸出、木工のロングランイベントを開催します。

- 1月下旬～3月末 「知床野営場をかんじきで歩こう（かんじき貸出）」
- 2/1～2/28（水曜休）「お父さんのための木工（仮）」

☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。